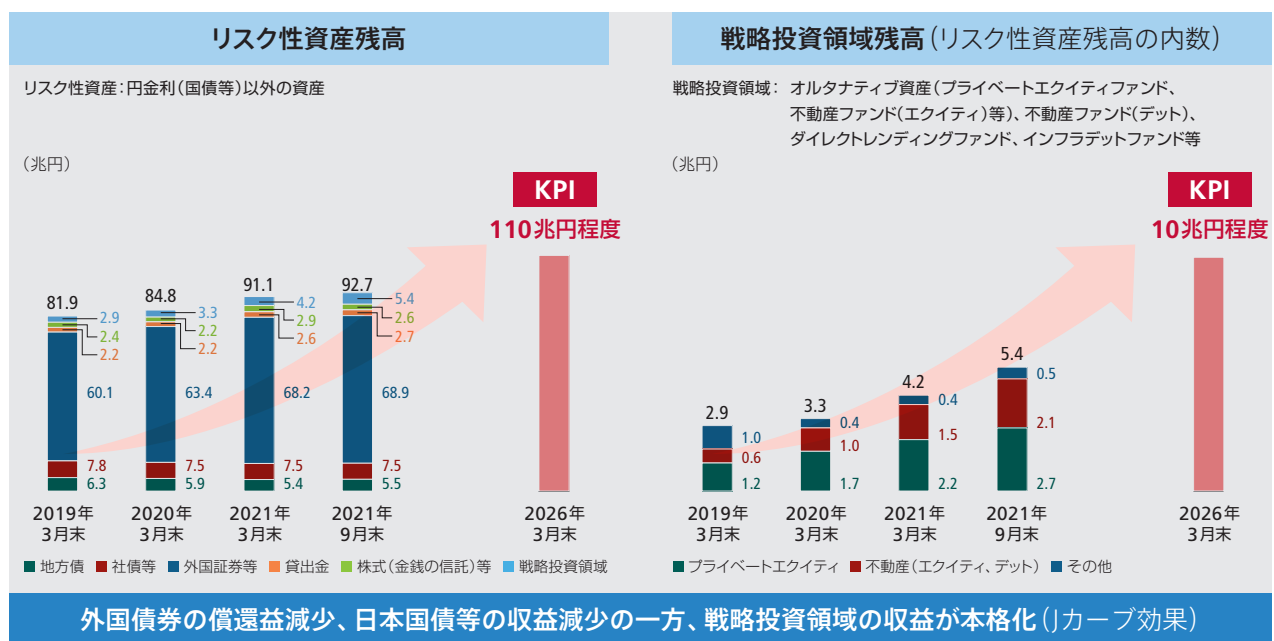




重点戦略④ ストレス耐性を意識した市場運用・リスク管理の深化

低金利が継続する厳しい経営環境の中、「リスクアペタイト・フレームワーク」に基づき、取得するリスクの種類や水準を明確にしたうえで、リスク対比リターンを意識しつつ、収益性の向上を目指して国際分散投資を拡充しています。

2021年度中に、投資適格(IG)領域を中心にリスク性資産残高を90～95兆円程度に積み上げるとともに、リスク性資産のうち戦略投資領域については、選別的に投資を進め、5～6兆円程度の残高を目指してまいります。



重点戦略⑤ 一層信頼される銀行となるための経営基盤の強化

当行は「信頼を深め、金融革新に挑戦」のスローガンのもと、全社員がお客さま本位の業務運営を実現し信頼される銀行を目指し、持続性ある組織風土改革と内部管理態勢の強化に取り組んでいます。

お客さま本位の業務運営の一層の推進・実践を図っていくことを目的に設置した、代表執行役社長を委員長とする専門委員会「サービス向上委員会」を週次で開催するなど、お客さまの声に真摯に耳を傾ける組織・管理態勢を構築しています。「サービス向上委員会」での報告を踏まえ、2021年10月からは、ゆうちょ通帳アプリやゆうちょPayなどの各種

アプリ等において、従来導入済みの自動音声認証に加え、口座に携帯電話番号をご登録されているお客さまを対象として、SMS認証を使用できるようにするなど、さまざまなお客さまの利便性向上に向けて取り組んでいます。

また、2020年9月に設置した「社長直通意見箱」に寄せられた社員の声は商品・サービス等の改善につながる取り組みを継続しているほか、新たに社内向け動画や情報紙を活用し、社内のコミュニケーションをより一層強化してまいります。